

第109回完ナビ 訂正表

※ が訂正箇所になります。(139 ページ 問132)

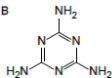
問 132

化合物 A~E の代謝と毒性に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。

A



B



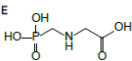
C



D

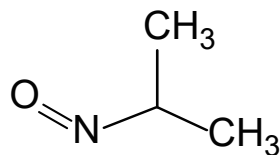


E



- 化合物 A は、生体内でホルムアルデヒド、次いでギ酸に酸化されて視覚障害を引き起こす。
- 化合物 B は、シトクロム P450 によって酸化され、生じたエポキシ体がメトヘモグロビン血症を引き起こす。
- 化合物 C は、シトクロム P450 によって水酸化され、次いで *N*-脱メチル化される過程で生成するメチルカチオンが DNA と付加体を形成する。
- 化合物 D は、シトクロム P450 によって速やかに水酸化され、TCA 回路のアコニターゼを阻害する。
- 化合物 E は、カルボキシエステラーゼによる加水分解によって活性化され、アセチルコリンエステラーゼを不可逆的に阻害する。

訂正前



訂正前



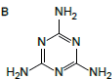
問 132

化合物 A~E の代謝と毒性に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。

A



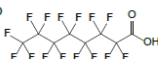
B



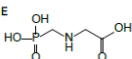
C



D

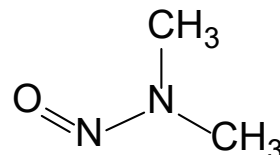


E



- 化合物 A は、生体内でホルムアルデヒド、次いでギ酸に酸化されて視覚障害を引き起こす。
- 化合物 B は、シトクロム P450 によって酸化され、生じたエポキシ体がメトヘモグロビン血症を引き起こす。
- 化合物 C は、シトクロム P450 によって水酸化され、次いで *N*-脱メチル化される過程で生成するメチルカチオンが DNA と付加体を形成する。
- 化合物 D は、シトクロム P450 によって速やかに水酸化され、TCA 回路のアコニターゼを阻害する。
- 化合物 E は、カルボキシエステラーゼによる加水分解によって活性化され、アセチルコリンエステラーゼを不可逆的に阻害する。

訂正後



訂正後